

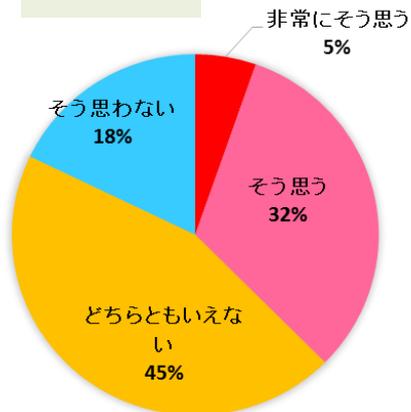
## VI. アンケート調査結果（職種比較）

※同一質問、または同テーマの質問について、結果を職種別に比較したもの。  
当該質問をしていない職種については、グラフを空欄としている。

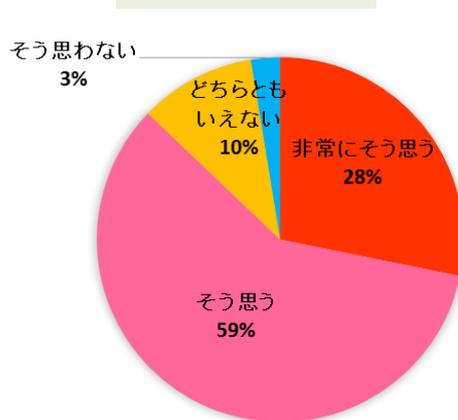
※病棟看護師・医療ソーシャルワーカー：病院職種  
訪問看護師：ケアマネジャー：在宅職種  
として、コメントを記載。（医師は、病院医師、在宅医師両方が存在）

# 病院から在宅に移行の際、退院支援や調整で問題を感じますか

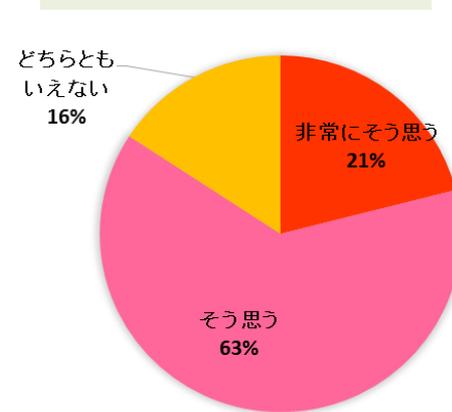
## 【医師】



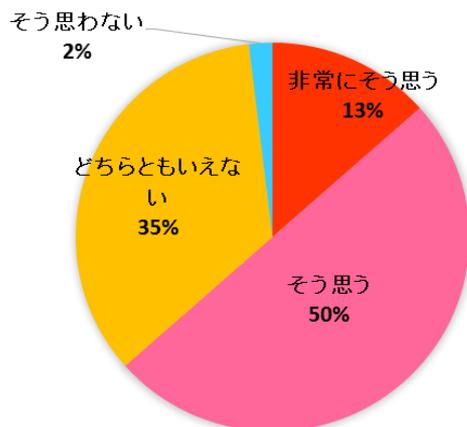
## 【病棟看護師】



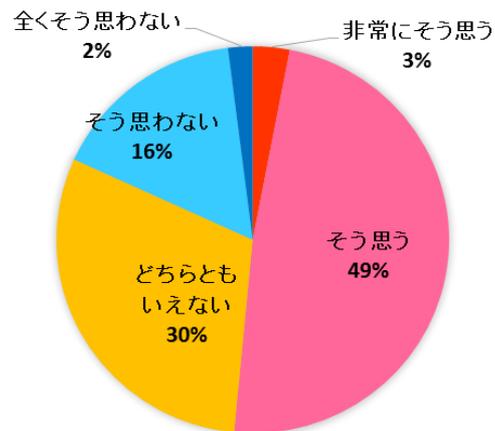
## 【ソーシャルワーカー】



## 【訪問看護師】



## 【ケアマネジャー】



■ 問題を感じると回答した人が、病棟看護師(87%)、ソーシャルワーカー(84%)に対し、訪問看護師(63%)、ケアマネジャー(52%)であり、病院職種で問題を感じる割合が高くなっている。

# 医療機関によって退院支援・調整の対応が異なりますか

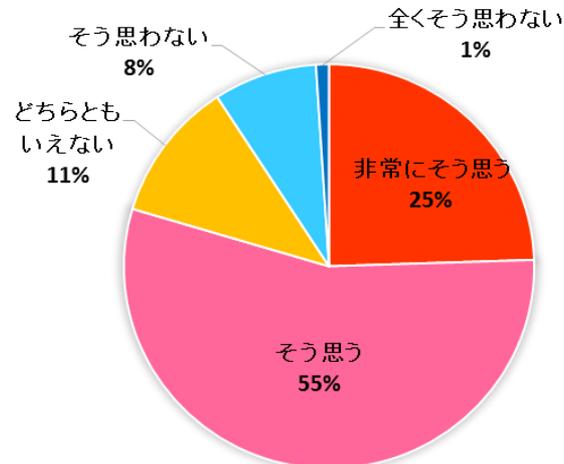
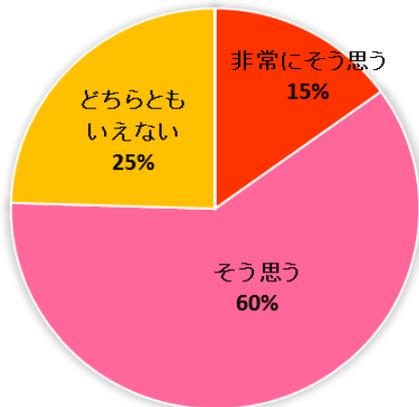
【医師】

【病棟看護師】

【ソーシャルワーカー】

【訪問看護師】

【ケアマネジャー】



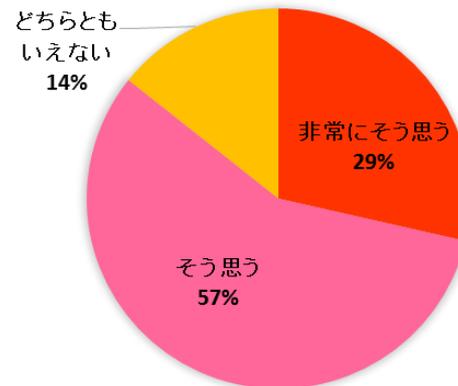
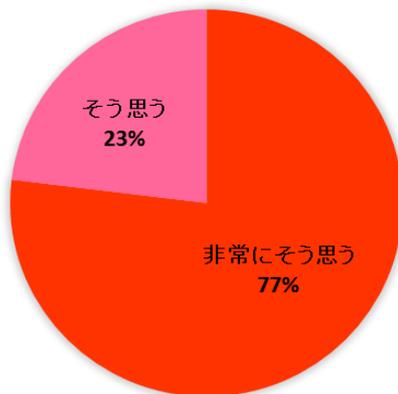
■ 対応が異なると回答した人が、訪問看護師(75%)、ケアマネジャー(80%)と高い。

# 入院早期から、患者の在宅療養に備えた関係者との情報交換、情報提供は重要と思いますか

## 【医師】

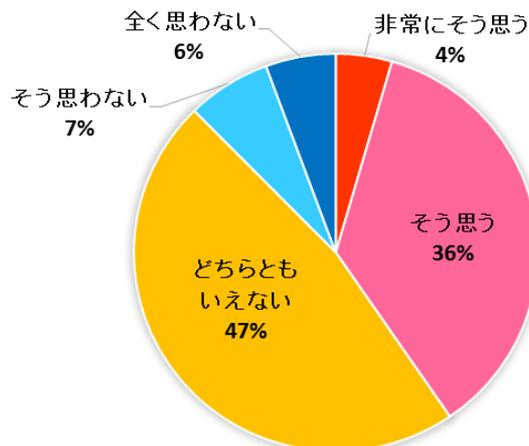
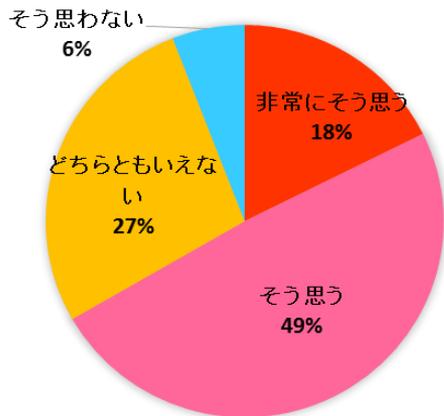
## 【病棟看護師】

## 【ソーシャルワーカー】



## 【訪問看護師】

## 【ケアマネジャー】



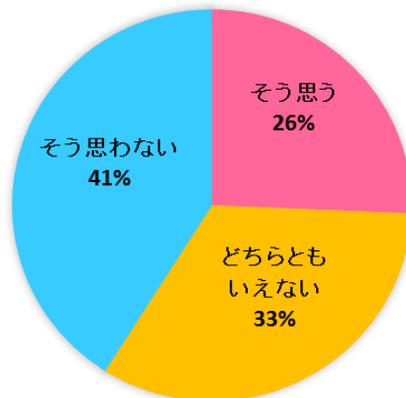
■ 重要と回答した人が、病棟看護師(100%)、ソーシャルワーカー(86%)に対し、訪問看護師(67%)、ケアマネジャー(40%)であり、病院職種で入院早期からの情報提供・交換の重要性を感じる割合が高い。

# 入院早期から、患者の在宅療養に備えた関係者との情報交換、情報提供ができていますか

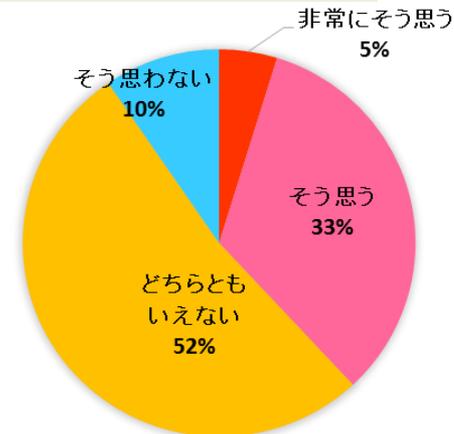
【医師】



【病棟看護師】



【ソーシャルワーカー】



【訪問看護師】

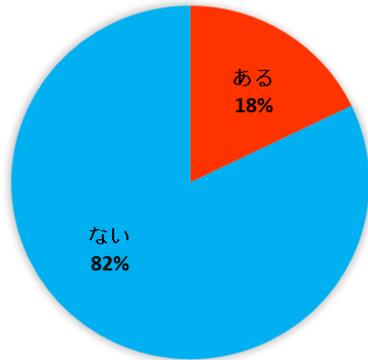
【ケアマネジャー】

- 重要と回答した人が、病棟看護師(100%)、ソーシャルワーカー(86%)であるにもかかわらず、実際にできていると回答した人は、病棟看護師(26%)、ソーシャルワーカー(38%)である。

# 退院前カンファレンスについて

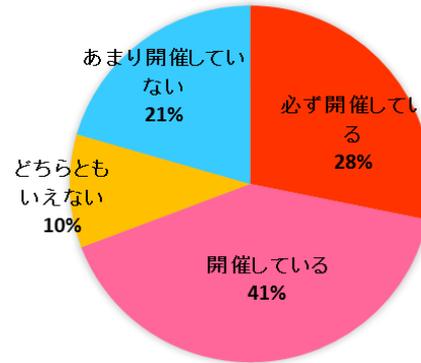
## 【医師】

●参加したことがありますか？

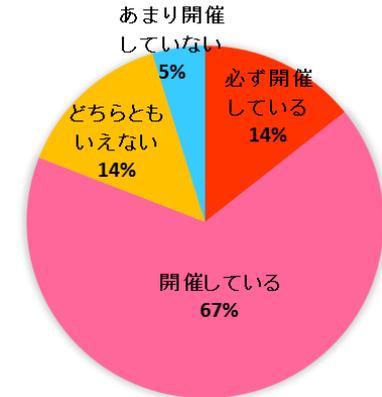


## 【病棟看護師】

●退院後に在宅医療や介護が必要な人には、開催していますか？

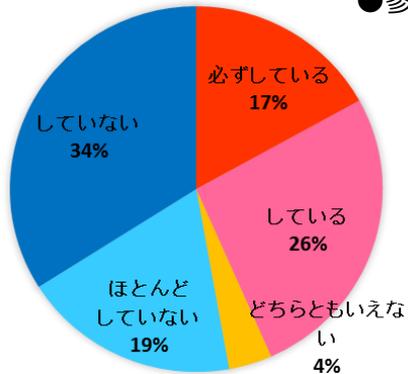


## 【ソーシャルワーカー】

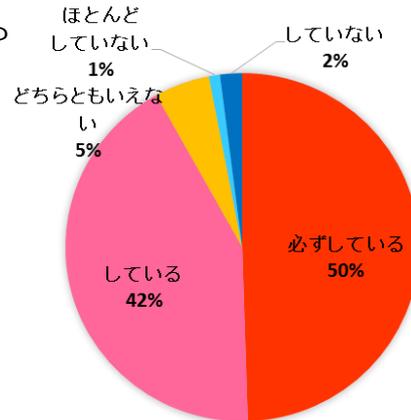


## 【訪問看護師】

●参加していますか？



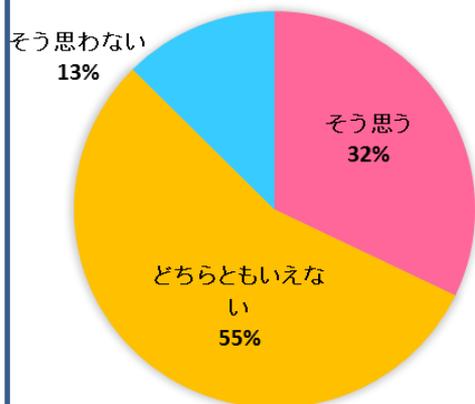
## 【ケアマネジャー】



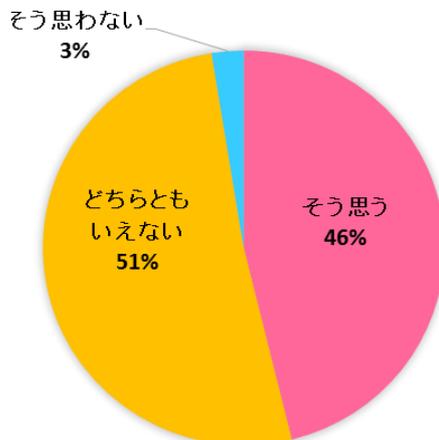
- 必要であるにも関わらず、退院前カンファレンスを開催していないと回答した人が、病棟看護師(21%)、ソーシャルワーカー(5%)である。
- 参加すると回答した人は、訪問看護師(43%)、ケアマネジャーは(92%)である。

# 退院時に、患者・家族は病状について十分説明を受け理解していると思いますか

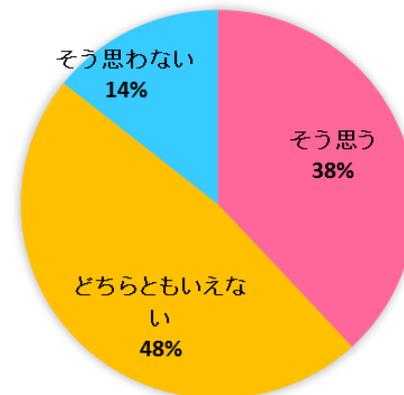
【医師】



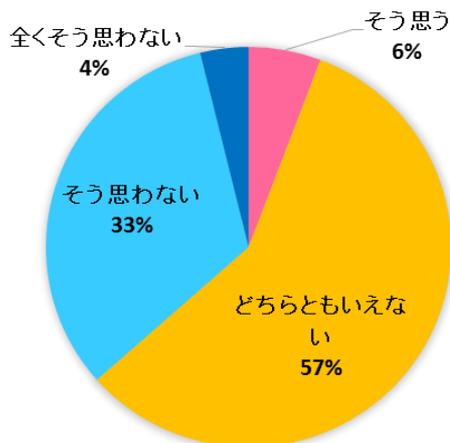
【病棟看護師】



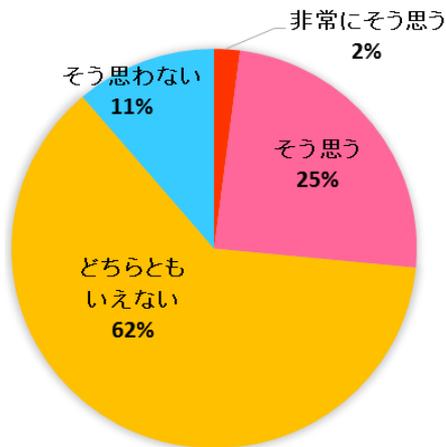
【ソーシャルワーカー】



【訪問看護師】



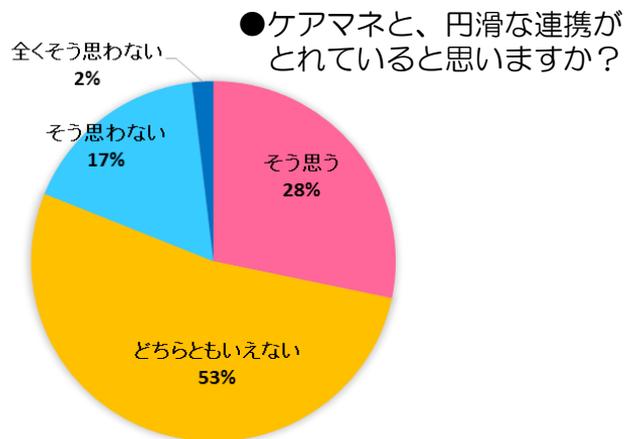
【ケアマネジャー】



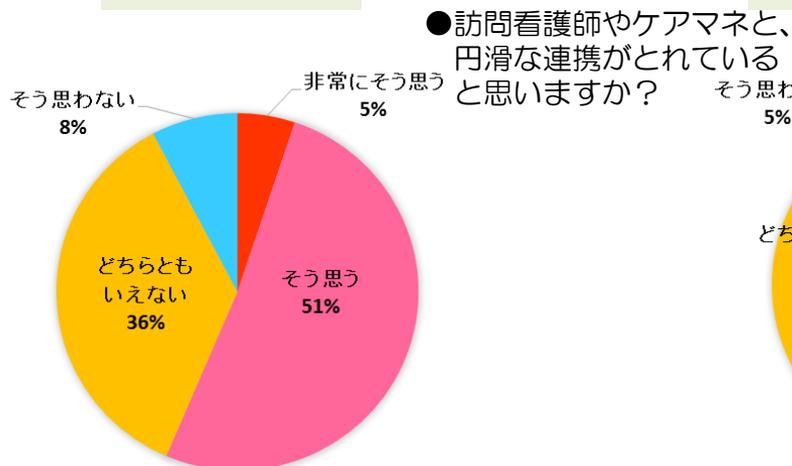
■ 退院時に十分説明を受けて理解していると回答した人が、病棟看護師(46%)、訪問看護師(6%)と、病院職種と在宅職種で大きな開きがある。

# 退院時の多職種連携について

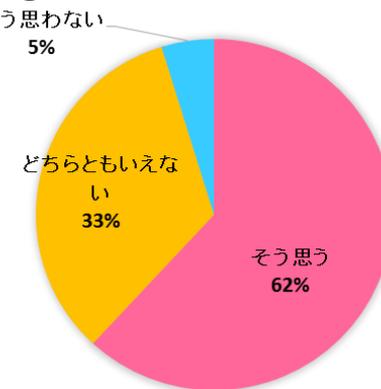
## 【医師】



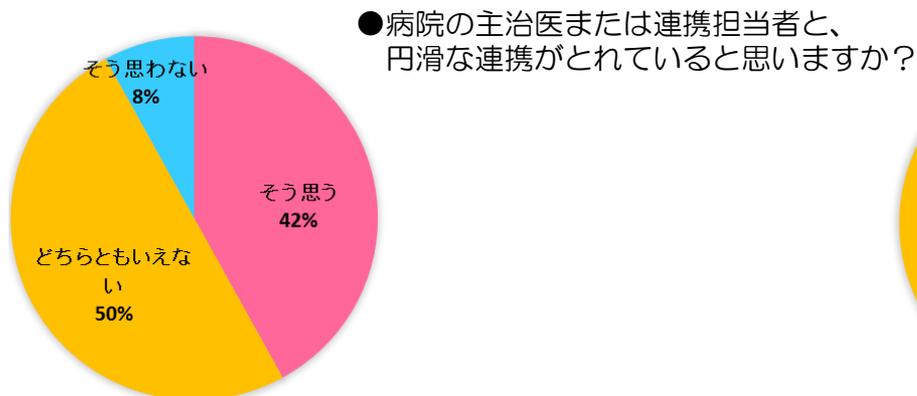
## 【病棟看護師】



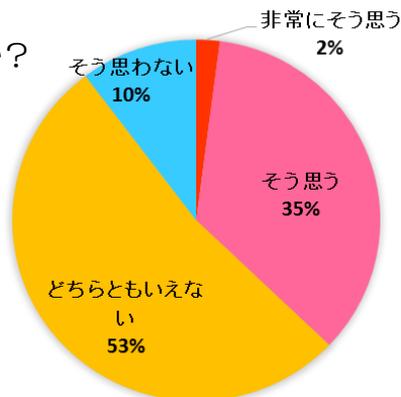
## 【ソーシャルワーカー】



## 【訪問看護師】



## 【ケアマネジャー】



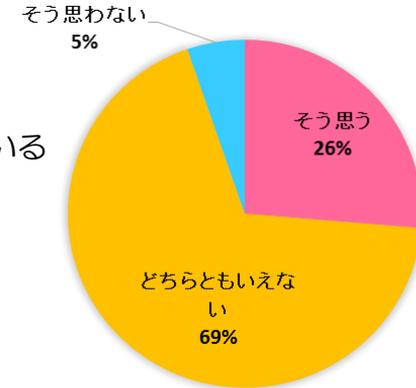
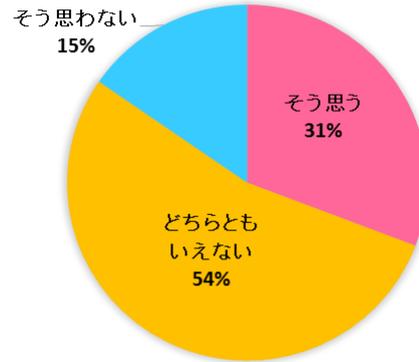
■ 円滑な連携がとれていると回答した人は、病棟看護師(51%)、ソーシャルワーカー(62%)に対し、訪問看護師(42%)、ケアマネジャー(35%)と、在宅職種の方が低い。

# 転院時の多職種連携について

## 【医師】

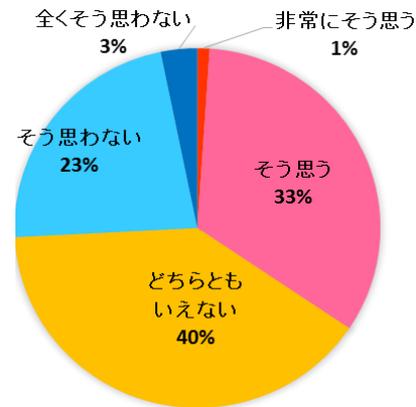
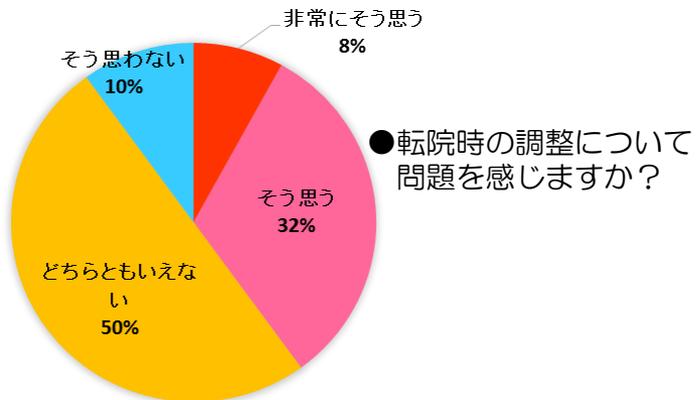
## 【病棟看護師】

## 【ソーシャルワーカー】



## 【訪問看護師】

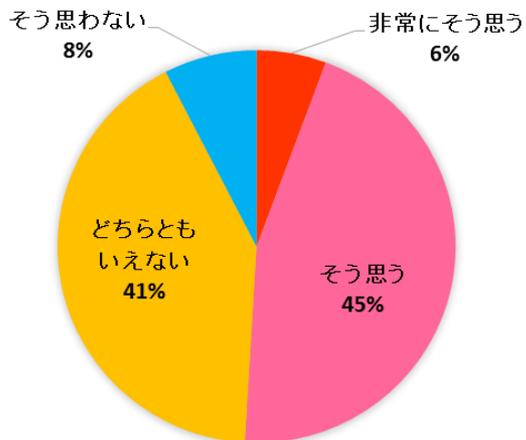
## 【ケアマネジャー】



■ 転院時の調整について問題を感じる『非常にそう思う』と回答した人が、訪問看護師(8%)と、他職種に比べて多くなっている。

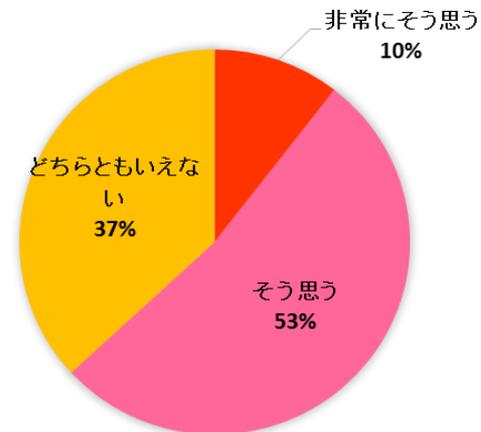
# 患者や家族に対する日常の療養支援で、問題を感じますか

## 【医師】

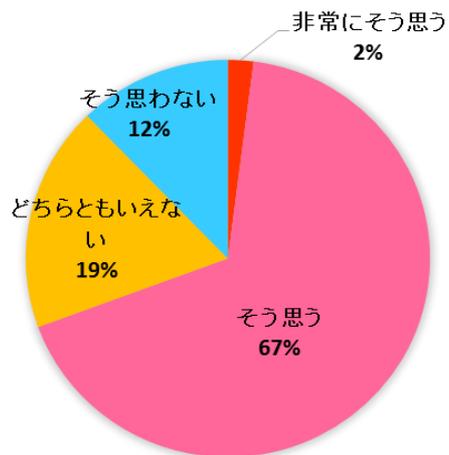


## 【病棟看護師】

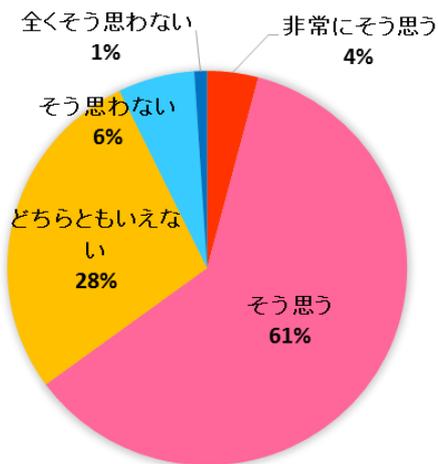
## 【ソーシャルワーカー】



## 【訪問看護師】



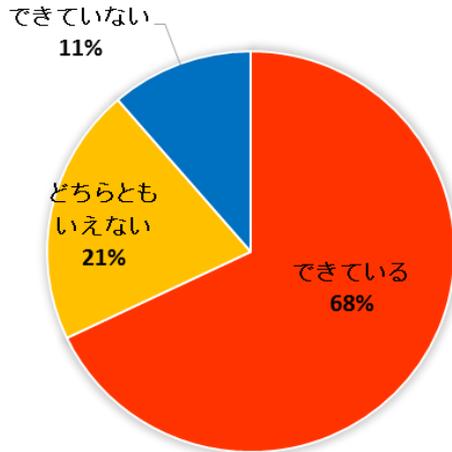
## 【ケアマネジャー】



■ 日常の療養支援で問題を感じると回答した人は、医師(51%)、ソーシャルワーカー(63%)、訪問看護師(69%)、ケアマネジャー(65%)と、各職種とも、半数以上である。

# 主治医意見書や訪問看護指示書について

## 【医師】

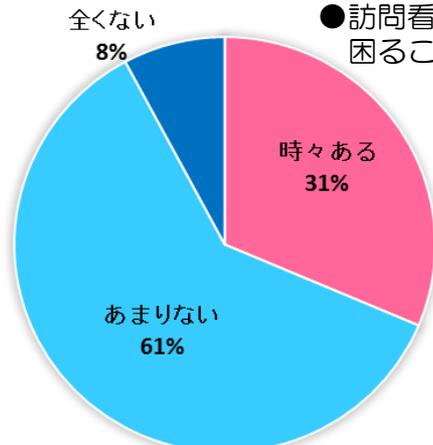


## 【病棟看護師】

●主治医意見書や訪問看護指示書等の文書は、迅速かつ継続的に発行できていますか？

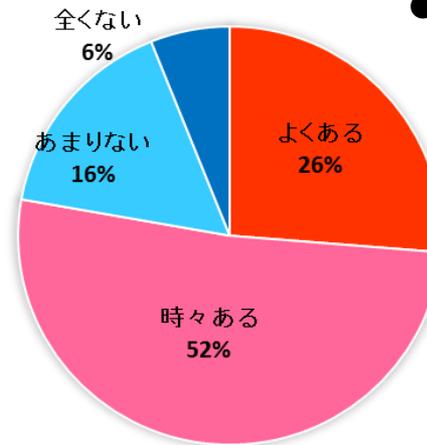
## 【ソーシャルワーカー】

## 【訪問看護師】



●訪問看護指示書が遅延し、困ることがありますか？

## 【ケアマネジャー】

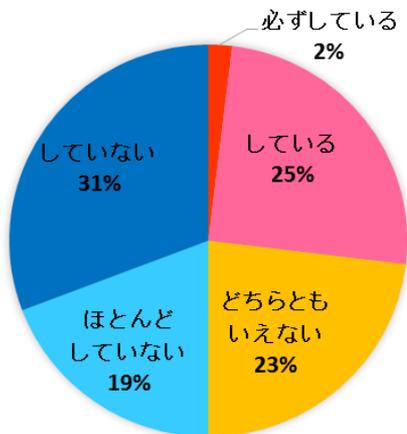


●主治医意見書が期限内に提出されず、要介護認定結果が遅延し、困ることがありますか？

■医師は68%が迅速な発行が「できている」と回答しているが、ケアマネは78%が「よくある」「時々ある」と回答している。

# 多職種連携にかかわる情報を、共有するシステムや書式を作成し運用していますか

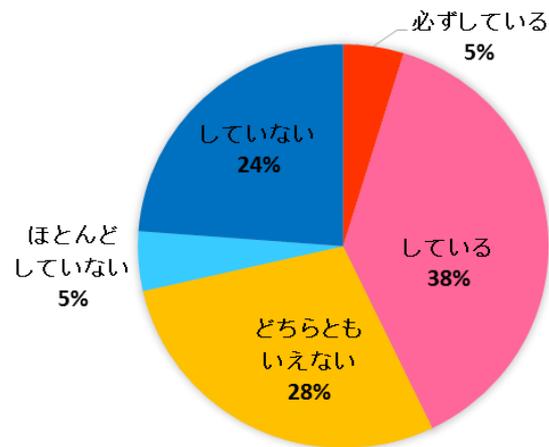
【医師】



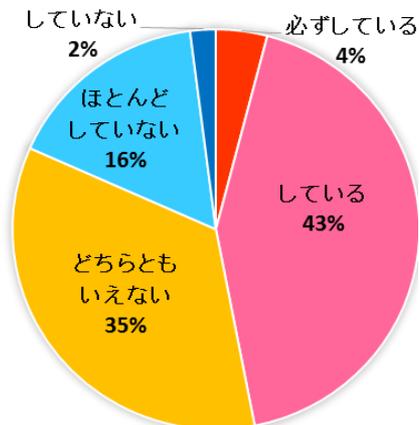
【病棟看護師】



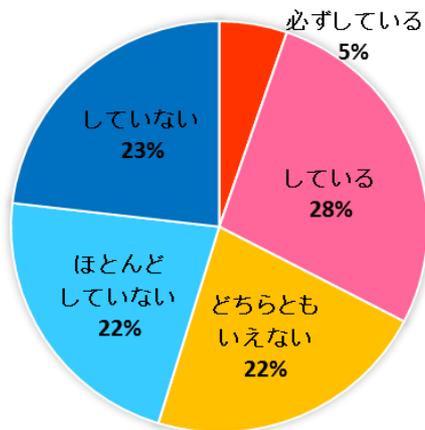
【ソーシャルワーカー】



【訪問看護師】

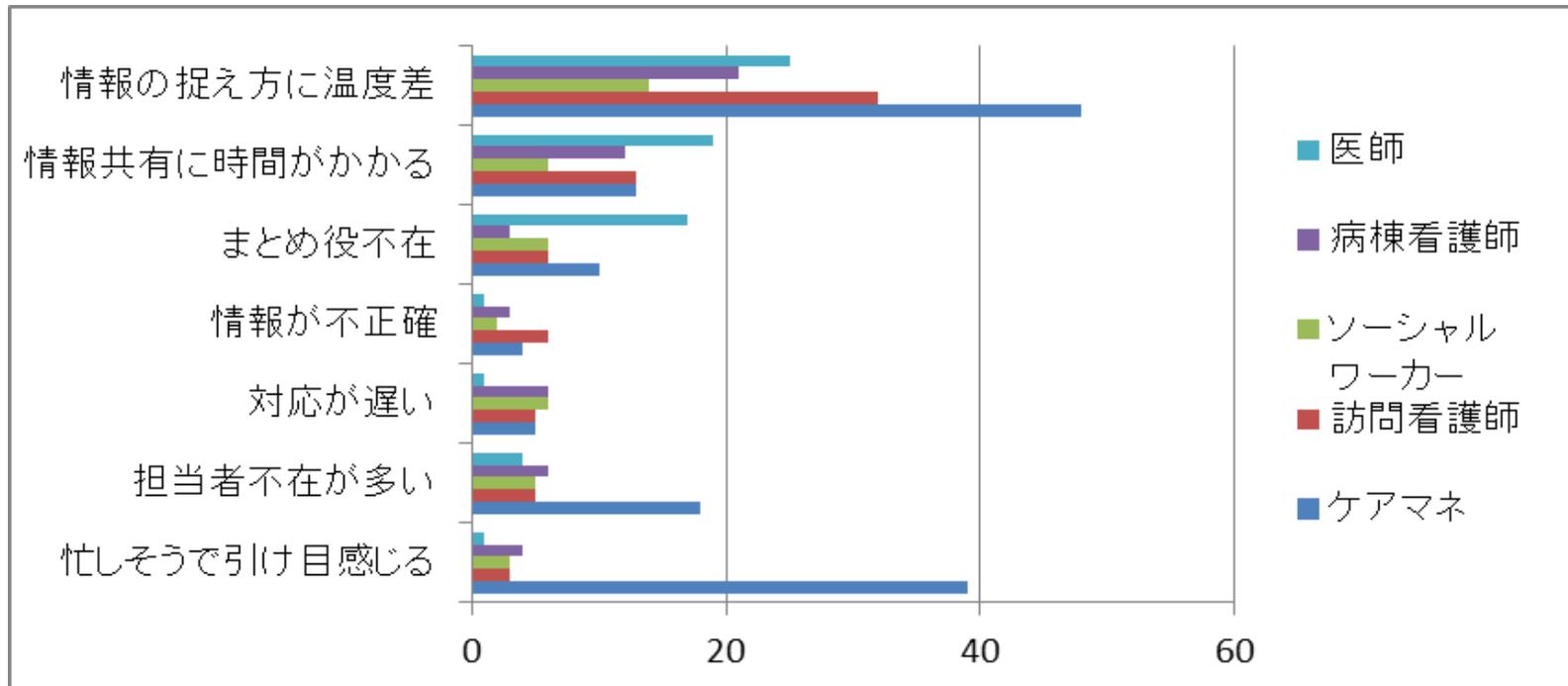


【ケアマネジャー】



■ 共有するシステムや書式を利用していると回答した人の割合は、病棟看護師(67%)でもっとも高く、医師(27%)、ケアマネジャー(33%)の順に低くなっている。

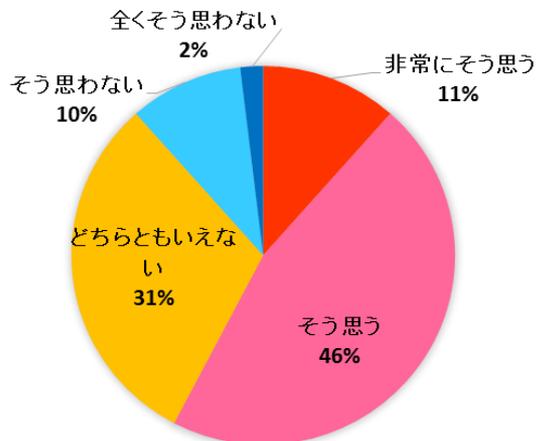
## 多職種間の連携を行うにあたっての課題(複数回答可)



- どの職種も、最も多かった回答は、「情報の捉え方に温度差がある」である。
- 「忙しそうで引け目を感じる」と回答した人は、ケアマネが46%で、他職種に比べて突出して高い。

# 急変時の対応で、問題を感じることはありますか。

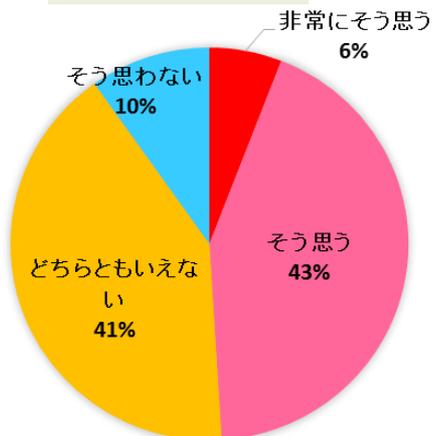
## 【医師】



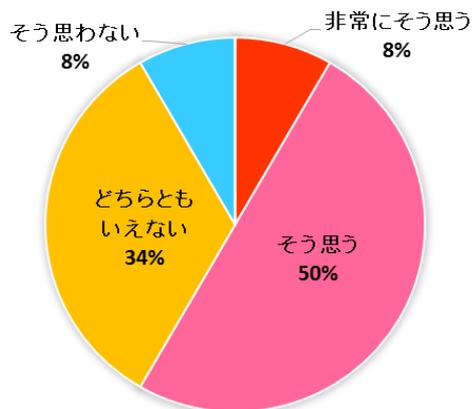
## 【病棟看護師】

## 【ソーシャルワーカー】

## 【訪問看護師】



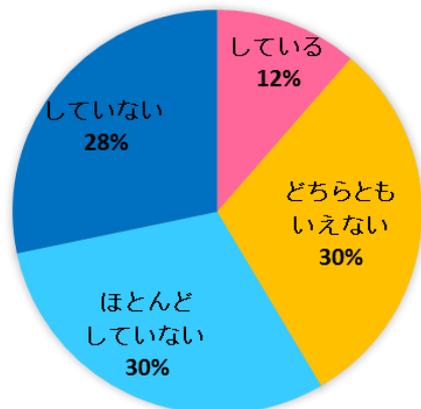
## 【ケアマネジャー】



■ 5～6割が問題を感じている。

# 急変時の対応について、サービス担当者会議などで話し合い、情報を共有できていますか

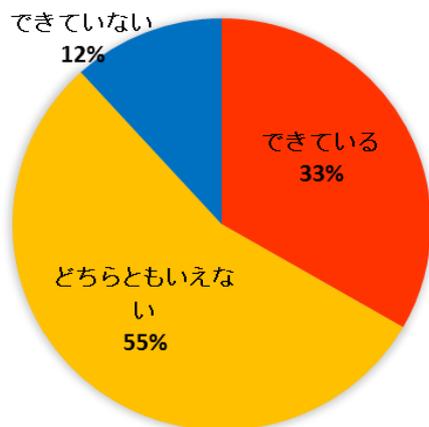
【医師】



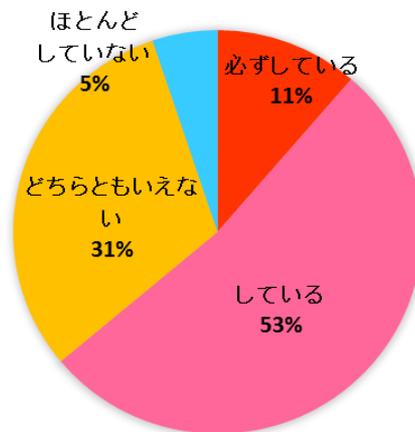
【病棟看護師】

【ソーシャルワーカー】

【訪問看護師】



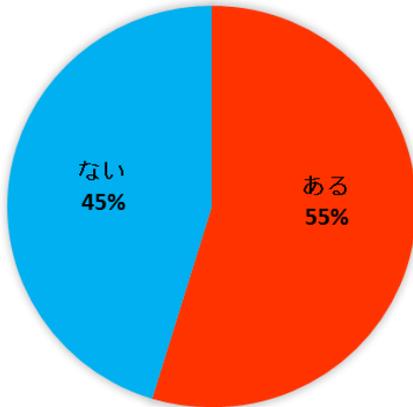
【ケアマネジャー】



■ サービス担当者会議などで、情報を共有していると回答した人は、医師(12%)、訪問看護師(33%)、ケアマネジャー(64%)と、各職種でばらつきがある。

## 急変時に受け入れている病院がなく、困ったことがありますか

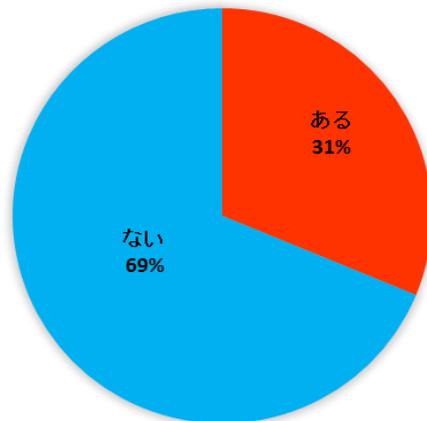
【医師】



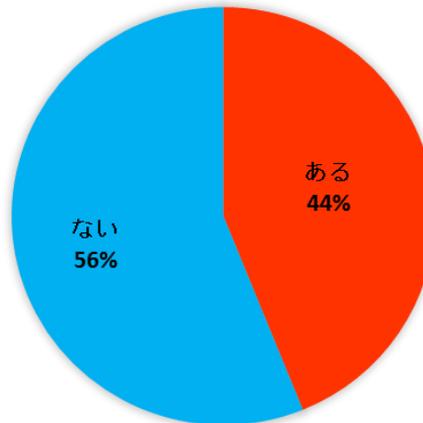
【病棟看護師】

【ソーシャルワーカー】

【訪問看護師】



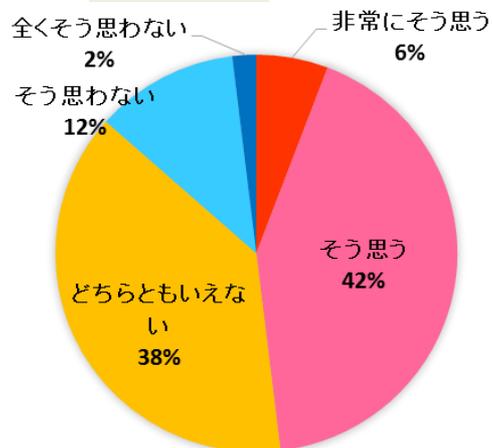
【ケアマネジャー】



■ もっとも多く「困ったことがある」と回答したのは、医師(55%)である。

# 在宅での看取りについて、問題を感じますか

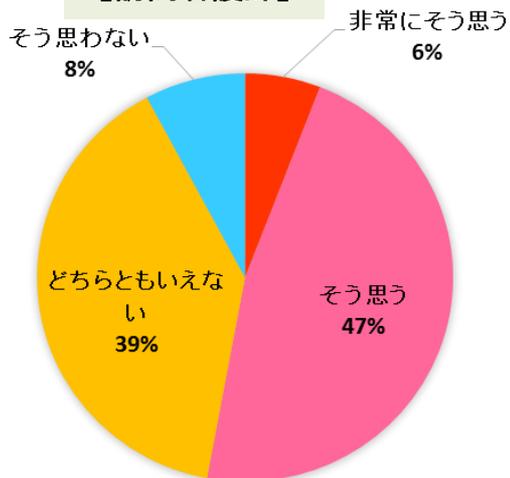
## 【医師】



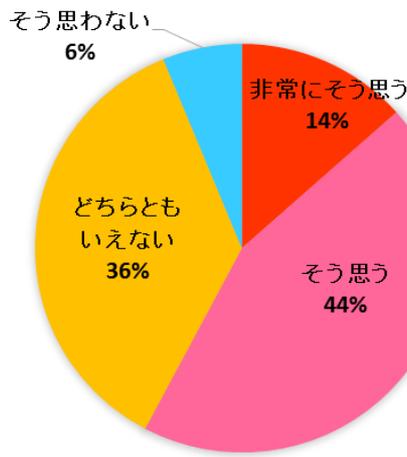
## 【病棟看護師】

## 【ソーシャルワーカー】

## 【訪問看護師】



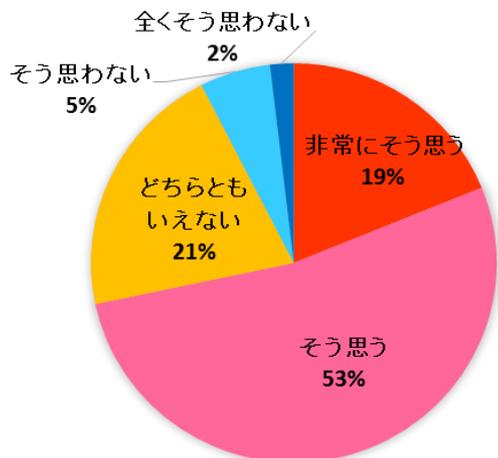
## 【ケアマネジャー】



■ 在宅での看取りに問題を感じると回答した人は、各職種とも約半数である。

# 在宅での看取りについて、不安や負担を感じますか

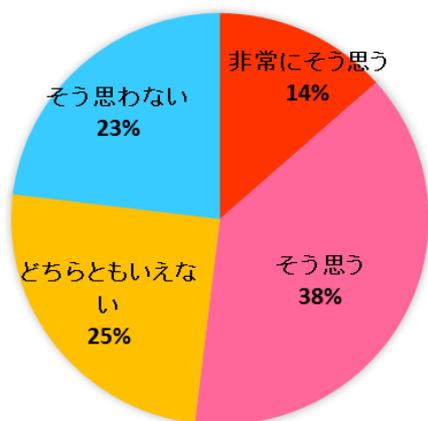
【医師】



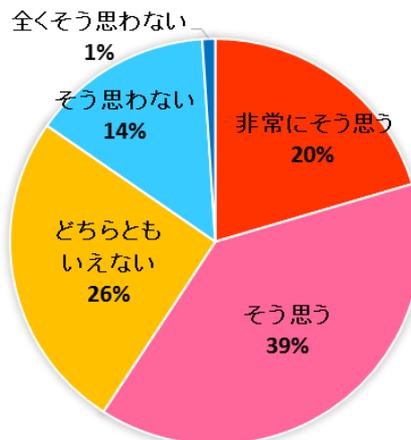
【病棟看護師】

【ソーシャルワーカー】

【訪問看護師】



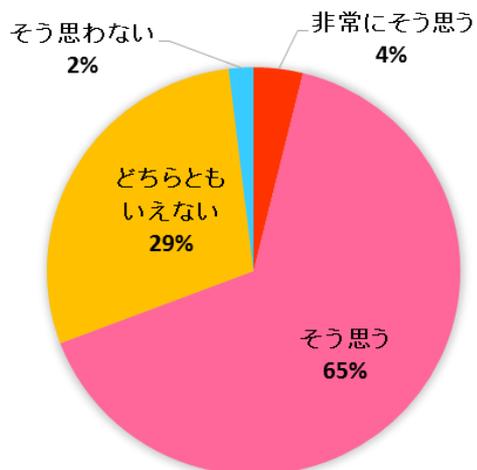
【ケアマネジャー】



■ 不安や負担を感じると回答した人の割合は、5～7割で、医師(72%)が最も高い

# 在宅での看取りするため、多職種によるカンファレンスは必要だと思いますか

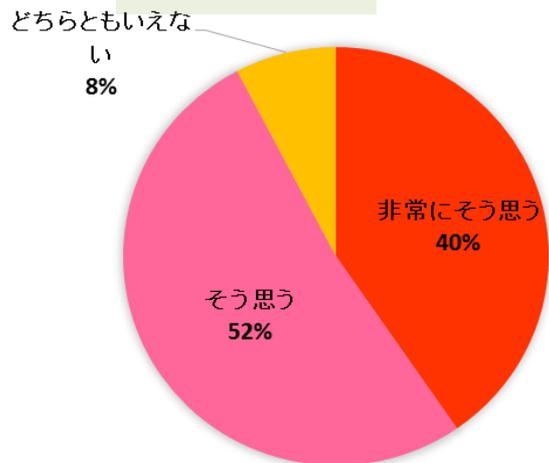
## 【医師】



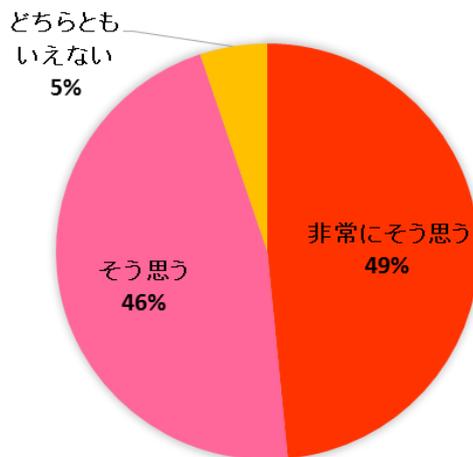
## 【病棟看護師】

## 【ソーシャルワーカー】

## 【訪問看護師】



## 【ケアマネジャー】



■ 必要だと回答した人の割合は、訪問看護師(92%)、ケアマネジャー(95%)と、医師(69%)を大きく上回る